

葛西 紀明 (かさい のりあき)

土屋ホームスキー部 選手兼監督

身長 176cm

体重 59kg

出身地 北海道上川郡下川町

経歴

1972年北海道下川町生まれ。身長176cm 体重59kg 小学3年生でスキーを始める。

中学3年生の宮様大会テストジャンパーで、優勝者の記録を上回り話題になる。

旧大倉山ジャンプ競技場のバッケンレコード(135m)を所持。

ラージヒル日本人記録147.5m(プラニツァ)所持。

2003年イタリアのヴァル・ディ・フィエンメで開催されたノルディック世界選手権大会では団体銀、ノーマル・ラージとも銅の3つのメダルを獲得。

2003-2004 ワールドカップソルトレークシティ大会で自身通算15勝目を飾った。

2006年トリノオリンピックに自身5回目のオリンピック出場を果たす。

2007年世界選手権札幌大会の団体戦では銅メダル獲得。

2009年世界選手権団体戦でも2大会連続の銅メダルを獲得。

この年、監督に就任しプレイングマネージャーに。

2010年バンクバー五輪へ出場、6大会連続は冬季五輪では最多タイ。

2011年には自身7度目となる世界世界選手権に出場。

2013年8月サマーグランプリ白馬大会で2009年以来となる優勝。

2014年1月11日バート・ミッテンドルフ大会(フライングヒル/オーストリア)でワールドカップ最年長優勝を果たす。(41歳219日=通算16勝目、日本人男子最多勝利)

同年2月のソチオリンピックでは個人ラージヒル銀、団体銅の2つのメダルを獲得。

同年3月、ワールドカップ最年長優勝、冬季五輪7大会連続最多出場、冬季五輪スキージャンプ最年長メダリストの3つがギネス世界記録に認定される。

同年11月29日フィンランドのルカで開催されたワールドカップ個人第3戦で自らが持つ最年長優勝記録を42歳5ヶ月に更新、通算優勝回数を17回(日本人男子最多)とした。

2015年2月ファルン(スウェーデン)で開催されたノルディックスキー世界選手権では混合団体で伊藤有希と共に銅メダルを獲得。

2016年1月30日、第一子となる長女が誕生。その翌日にはFISワールドカップ札幌大会で3位に入り、ワールドカップ最年長表彰台記録を43歳240日に更新。

さらに同日「ワールドカップ最多出場」「ノルディックスキー世界選手権最多出場」の2つが新たにギネス世界記録に認定され、計5つのギネス世界記録ホルダーとなった。

2016年3月17日、プラニツァ(スロベニア)で開催されたFISスキージャンプワールドカップで前人未達の500試合出場を達成。

2017年3月26日、プラニツァ(スロベニア)で行われたワールドカップ個人最終戦で3位に入り、3月19日の2位に続いて2016-2017シーズン2度目の表彰台に上がり、自らが持つW杯最年長表彰台記録を44歳9か月に更新した。

2018年2月連続8度目となる平昌オリンピックに出場。

2018年4月自身の持つギネス世界記録「冬季五輪連続最多出場」「ワールドカップ最多出場」を更新した。

2020年5月葛西紀明が持つギネス世界記録「スキージャンプW杯最多出場」を569に更新したことが認定される

学歴・職歴

2001 株式会社土屋ホーム 入社

1998 株式会社マイカル 入社

1991 株式会社地崎工業 入社

1991 東海大学第四高等学校 卒業

詳細については

↓

<https://teamtsuchiya.com/kasai>